

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
博士後期課程

学生募集要項

平成28年4月入学・進学（第2回）

GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE, DENTISTRY AND
PHARMACEUTICAL SCIENCES

OKAYAMA UNIVERSITY

<http://www.pharm.okayama-u.ac.jp>

《 アドミッション・ポリシー 》

大学院医歯薬学総合研究科では、その設置の趣旨・目的に基づき次のような学生を求めています。

- ・ 最先端の研究動向を把握し、地域から国際社会まで幅広く普遍的に貢献する研究を志す人
- ・ 医・歯・薬学の専門的知識を統合した学際的研究を志す人
- ・ 世界をリードする先端的・独創的研究を推進し、研究成果を発信する人
- ・ 高度で幅広い知識を習得し、科学の進歩に適応しうる問題解決能力を涵養する人

目 次

I 募集人員	1 ページ
II 入試日程	1 ページ
III 一般入試	2 ページ
IV 進学者選考要項	8 ページ
V 薬科学専攻（博士後期課程）カリキュラム	11 ページ
VI 薬科学専攻（博士後期課程）案内	13 ページ

入学試験に関する照会先

〒700-8530
岡山市北区津島中1丁目1番1号
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等
薬学系事務室教務学生担当
【TEL 086-251-7923（直通）】

募集要項等の郵送を希望する場合は、「医歯薬学総合研究科（博士後期課程）募集要項請求」とし、返信用封筒（角形2号の封筒に郵便切手250円分を貼付したもの）を同封して、上記あてに請求してください。

I 募集人員

専攻	平成28年4月入学募集人員
薬科学専攻	若 干 人

※募集人員には，進学者選考での若干人を含みます。

II 入試日程

	平成28年 4月入学(第2回入試)
出願期間	平成28年 1月21日(木) ～ 平成28年 1月22日(金)
試験日	平成28年 2月12日(金)
合格者発表	平成28年 3月 1日(火)

Ⅲ 一般入試

1 出願資格

次のいずれかに該当する者又は平成28年3月までに該当する見込みの者

- (1) 修士の学位若しくは専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの

注① 岡山大学大学院博士前期課程又は修士課程を修了見込の方は、「Ⅳ 進学者選考要項(p8)」により出願してください。

注② 出願資格(2)に定める「外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者」とは、外国において、日本の修士課程に対応する課程を修了した者で、学校教育課程年数が18年以上の者をいいます。

なお、学校教育課程年数が18年未満の者のうち日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間研究に従事している者は、出願資格を有するものとします。

注③ 出願資格(3)に定める「外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者」の学校教育課程年数及び通算修学年数の取り扱いは、前記(2)と同じです。

注④ 出願資格(7)に定める「文部科学大臣の指定した者」とは、次のいずれかに該当する者で、大学等を卒業又は修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事し、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許などにおいて修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有するものとします。(出願資格審査申請が必要です。2の「出願資格における個別の入学資格審査」をご覧ください。)

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

注⑤ 出願資格(8)に定める「大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者」とは、出願資格の審査として本研究科で書類審査の後に学力検査(筆記試験、口頭試問)及び面接を行い合格した者としてします。(出願資格審査申請が必要です。2の「出願資格における個別の入学資格審査」をご覧ください。)ただし、提出書類等により、個人の能力の確認ができる場合は、筆記試験は省略することがあります。

なお、学力検査等の実施日程、実施方法等については個別に連絡します。

2 出願資格における個別の入学資格審査

前記1の出願資格(7)又は(8)における入学志願者は、出願の前に、入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、次により申請書類を請求し、期限までに提出してください。

申請書類請求方法	「大学院医歯薬学総合研究科入学資格審査申請書類請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒を同封し、請求先あてに郵送してください。 [返信用封筒] 長形3号封筒(23.5cm×12cm)に、入学志願者本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、372円分の切手を貼り付けてください。
請求先	〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 【TEL (086)251-7923】
申請書類提出期間	平成28年1月4日(月)～1月5日(火)必着

出願資格審査提出書類

(1) 出願資格認定申請・調書	本研究科所定の様式を使用してください。
(2) 業績調書	本研究科所定の様式を使用してください。(専攻分野に関連する研究業績等について、客観的知見等を簡明に記載してください。) なお、学術論文等は、別刷り又はその写しを添付し、研究発表の場合は、その要旨又は概要を添付してください。
(3) 研究従事内容証明書	本研究科所定の様式を使用してください。 (所属機関等が作成したもの)
(4) 成績証明書(最終学歴)	最終出身学校長が作成したもの
(5) 卒業証明書(最終学歴)	最終出身学校長が作成したもの
(6) 資格免許証等	専攻分野に関連する各種免許証等参考になると思われる書類の写し (A4版にコピーして簡単な説明を付してください。)

(1)～(3)の様式は、出願書類の終わりに添付してあります。

(提出された書類は、出願資格審査のために使用します。)

3 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相談締め切り期限	平成28年1月7日(木)
相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求して、医師の診断書及び障害者手帳の写し(交付されている方のみ)を添えて相談してください。
請求先 相談先	〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 【TEL (086)251-7923】

4 出願手続

(1) 出願方法

入学志望者は、(5)の「出願に必要な書類等」を、出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

(2) 出願期間

平成28年1月21日(木)から1月22日(金)まで

(注) 郵送とし、平成28年1月22日(金)17時までに必着としますが、これ以降に到着したものは、平成28年1月21日(木)までの消印のあるものに限り受理します。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

また、受領時に、到着日時を必ず確認しておいてください。

ただし、持参する場合の受付時間は、9時から17時までです。(12時から13時までを除きます。)

(3) 提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等
薬学系事務室教務学生担当
【TEL(086)251-7923】

(4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ④ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。
- ⑤ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。

(5) 出願に必要な書類等

① 入学書・履歴書・受験票	本研究科所定の用紙を使用してください。
② 写 真	出願前3か月以内に上半身、無帽、正面向きで撮影したものを入学願書及び受験票の所定の欄に貼り付けてください。
③ 入学検定料	30,000円(振込手数料が別に必要です。) 入学検定料は、添付の「入学検定料振込用紙」により、金融機関(ゆうちょ銀行又は郵便局を含む。)の窓口から振込(ATMは使用しないでください。)によって納入し、必ず、「入学検定料振込証明書」を所定欄(受験票下欄)に貼り付けて提出してください。
④ 成績証明書	出身大学の学長又は学部長が作成したもの及び出身大学院の学長又は研究科長が作成したものの両方が必要です。
⑤ 修了証明書 又は 修了見込証明書	博士前期課程(修士課程)若しくは専門職大学院のもの
⑥ 住 民 票	日本在住の外国人の入学志願者のみ 市区町村長が発行したもの(在留資格・在留期間が記載されたもの)
⑦ 学位論文等	次のいずれかを提出してください。 ア 修士の学位を有する者は、修士論文の写し及び論文の要旨(本研究科所定の用紙で2,000字程度)各1部 イ 修士課程修了見込みの者及び 1の出願資格(7)又は(8) により出願する者は、研究経過報告書(本研究科所定の用紙で2,000字程度) なお、研究発表等の資料があれば添付してください。
⑧ 研究計画書	本研究科所定の用紙を使用してください。
⑨ 履歴書及び 研究従事内容 証明書	1の出願資格(2)～(3) に該当する者については、学校教育課程年数及び研究歴を確認しますので、本研究科所定の用紙に必要事項を記載して提出してください。
⑩ 博士論文研究 基礎力審査に相 当する審査に係 る確認・報告書	1の出願資格(6) に該当する者については、当該審査を行った学校等の長(学長、施設長等)が作成した、「博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認・報告書」(添付「様式例」参照)及び、その添付資料として「当該審査の合格とその学校等における修士の学位の授与要件の関係を示す資料」
⑪ 英語能力試験 の成績証明書	試験日の2年前から出願までの間に受験した下記のいずれかの英語能力試験の成績証明書の原本を提出してください。 ・ TOEIC ・ TOEIC-IP ・ 外国人留学生は、TOEICと同等の英語の成績を証明するもの ※成績通知書は後日返却します。
⑫ 受験票等送 付用封筒	この募集要項に添付されている封筒に、受験票の送付先(入学志願者本人の郵便番号、住所、氏名)を明記し、372円分の切手を貼ってください。
⑬ 連絡受信先 シール	合格通知及び入学手続書類等の送付用 合格者発表日及び入学手続書類発送時に確実に受理できる住所を記入してください。

【 注意事項 】

① 入学願書等の記入方法について

13ページの「VI薬科学専攻(博士後期課程)案内」により、講座・教育研究分野・研究内容・担当教員の一覧表を参照するとともに、教育研究分野の担当教員に、教育研究内容等について事前に面談の上、記入してください。

② 外国人留学生の方で、日本語能力試験2級以上、若しくはN2以上の証明書又はTOEFL(iBT)61点以上の証明書を保有している場合は、併せて提出してください。

③ 出願資格審査で、出願資格が有と認定された入学志願者は、④及び⑤の証明書の提出は不要です。

(6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。ただし、入学者については、入学願書に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を、本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名(漢字・カナ)の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を、入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

5 受験票の交付

(1) 受験票は、平成28年1月29日(金)頃に本人あて発送します。

なお、2月5日(金)までに到着しない場合には、次の連絡先に連絡してください。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等
薬学系事務室教務学生担当
【TEL (086)251-7923】

(2) 受験票は、試験当日及び入学手続の際に必要なとなりますので、大切に保管しておいてください。

6 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、口頭試問、提出のあった TOEIC テスト又は TOEIC IP テストのスコア及び出願書類等を総合して行います。

口頭試問は、修士学位論文及び研究計画書等を中心に行います。

なお、必要に応じて口頭試問の中で、英語(外国人に対しては日本語)の能力に関する試問を行います。

(1) 試験日程

試験日	試験内容	試験時間
平成28年2月12日(金)	口頭試問	9時30分～

※試問場所は、指導予定教員から後日連絡します。

(2) 試験場

岡山大学薬学部1号館 【岡山市北区津島中1-1-1】

- ① JR岡山駅西口から「47」系統の岡電バスで「岡大入口」又は「岡大西門」下車
- ② JR岡山駅東口から「17」系統の岡電バスで「福居入口」又は「岡大西門」下車
- ③ JR津山線「法界院駅」下車、徒歩約10分

7 合格者発表

- (1) 合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

日 時	掲 示 場 所
平成28年3月1日(火) 10時(予定)	薬学部1号館前 掲示板

- ① 合格者には、医歯薬学総合研究科等薬学系事務室教務学生担当の窓口で、合格通知書等を交付します。(本学に在籍していない合格者には、合格通知書を郵送します。)
- ② 掲示による合格者発表後、ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。
(<http://www.pharm.okayama-u.ac.jp>)
- ③ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

8 入学手続

- (1) 入学手続方法
詳細は、「入学案内」により通知します。

- (2) 入学手続期間

平成28年4月入学(第1回入試)
平成28年3月14日(月)及び3月15日(火)まで

9 その他

- (1) 学費
入学料 282,000円 [予定額]
授業料(前期分) 267,900円 (年額 535,800円) [予定額]
※ なお、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。
- (2) 修学援助
修学援助の一環として、入学料免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

10 昼夜開講制について

本専攻では、社会人の受講に便宜を図るため、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例(昼夜開講制)を適用し、昼間だけでなく夜間等(土曜日、夏季・冬季休暇など)においても授業及び研究指導を行っています。

IV 進学者選考

1 出願資格

本学大学院博士前期課程又は修士課程を、平成28年3月に修了する見込みの者

2 障がい等のある方の出願

障がい等のある進学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相談締め切り期限	平成28年1月7日(木)
相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求して、医師の診断書及び障害者手帳の写し(交付されている方のみ)を添えて相談してください。
請求先 相談先	〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 【TEL (086)251-7923】

3 出願手続

(1) 出願方法

進学志願者は、(5)の「出願に必要な書類等」を取りそろえ、(3)の提出先に持参してください。
なお、進学志願者は、進学後の指導予定教員にあらかじめ連絡してください。

(2) 出願期間

平成28年1月21日(木)から1月22日(金)まで

(注) ただし、持参する場合の受付時間は、9時から17時までです。(12時から13時までを除きます。)

(3) 提出先

〒700-8530
岡山市北区津島中1-1-1
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等
薬学系事務室教務学生担当
【TEL (086)251-7923】

(4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるものは受理しません。
- ④ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、進学後においても進学が取り消される場合がありますので注意してください。

- ⑤ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を進学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。

(5) 出願に必要な書類等

① 進学願書・履歴書・受験票	本研究科所定の用紙を使用してください。
② 写真	出願前3か月以内に上半身、無帽、正面向きで撮影したものを進学願書及び受験票の所定の欄に貼り付けてください。
③ 成績証明書	博士前期課程(修士課程)成績証明書を提出してください。
④ 研究経過報告書	本研究科所定の用紙で2,000字程度
⑤ 研究計画書	本研究科所定の用紙を使用してください。
⑥ 英語能力試験の成績証明書	試験日の2年前から出願までの間に受験した下記のいずれかの英語能力試験の成績証明書の原本を提出してください。 ・TOEIC ・TOEIC-IP ・外国人留学生は、TOEICと同等の英語の成績を証明するもの ※成績通知書は後日返却します。
⑦ 受験票等送付用封筒	この募集要項に添付されている封筒に、受験票の送付先(入学志願者本人の郵便番号、住所、氏名)を明記し、372円分の切手を貼ってください。
⑧ 連絡受信先シール	合格通知及び入学手続書類等の送付用 合格者発表日及び入学手続書類発送時に確実に受理できる住所を記入してください。

【 注意事項 】

進学願書等の記入方法について

13ページの「VI薬科学専攻(博士後期課程)案内」により、講座・教育研究分野・研究内容・担当教員の一覧表を参照するとともに、教育研究分野の担当教員に、教育研究内容等について事前に面談の上、記入してください。

(6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。ただし、入学者については、志願票に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を、本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名(漢字・カナ)の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を、入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

4 受験票の交付

- (1) 受験票は、平成28年1月29日(金)頃に本人あて発送します。

なお、2月5日(金)までに到着しない場合には、次の連絡先に連絡してください。

<p>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 【TEL(086)251-7923】</p>

- (2) 受験票は、試験当日及び進学手続の際に必要なとなりますので、大切に保管しておいてください。

5 進学者選抜方法等

進学者の選抜は、口頭試問、提出のあった TOEIC テストあるいは TOEIC IP テストのスコア及び出願書類等で総合して行います。

口頭試問は、研究経過報告書及び研究計画書等を中心に行います。

なお、必要に応じて口頭試問の中で、英語(外国人に対しては日本語)の能力に関する試問を行います。

また、書類審査等で能力が十分判定できる場合には、口頭試問を省略する場合があります。

(1) 試験日程

試験日	試験科目	試験時間
平成28年2月12日(金)	口頭試問	9時30分～

※ 試問場所は、指導予定教員から後日連絡します。

(2) 試験場

岡山大学薬学部1号館【岡山市北区津島中1-1-1】

- ① JR岡山駅西口から「47」系統の岡電バスで「岡大入口」又は「岡大西門」下車
- ② JR岡山駅東口から「17」系統の岡電バスで「福居入口」又は「岡大西門」下車
- ③ JR津山線「法界院駅」下車、徒歩約10分

6 合格者発表

(1) 合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

日時	掲示場所
平成28年3月1日(火) 午前10時(予定)	薬学部1号館前 掲示板

- ① 合格者には、医歯薬学総合研究科等薬学系事務室教務学生担当の窓口で、合格通知書等を交付します。
- ② 掲示による合格者発表後、ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。
(<http://www.pharm.okayama-u.ac.jp>)
- ③ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

7 進学手続

(1) 進学手続方法

詳細は、「入学案内」により通知します。

(2) 進学手続期間

平成28年4月進学(第2回入試)
平成28年3月14日(月)及び3月15日(火)まで

8 その他

(1) 学費

検定料及び入学料は不要です。

授業料(前期分) 267,900円(年額 535,800円)[予定額]

※ なお、進学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

(2) 修学援助

修学援助の一環として、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

V 薬科学専攻（博士後期課程）カリキュラム

1 組織及び研究内容

13 ページの「VI薬科学専攻（博士後期課程）案内」を参照してください。

2 修了要件

所定の 16 単位以上（ただし、分子イメージング教育コースは 24 単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、研究科の行う学位論文の審査及び最終試験に合格すること。修了要件を満たした者には、博士(薬科学)又は博士(学術)の学位が授与されます。

3 博士後期課程の履修コース及び履修方法

博士後期課程には、以下の 2 つの履修コースを設けています。

- (1) 一般コース
- (2) 分子イメージング教育コース

- (1) 一般コース

専門基盤科目（研究方法論基礎・応用）、研究指導科目（課題研究、薬科学英語演習）及び専門科目（選択科目、薬科学演習）により、研究手法の取得と論文の作成を行うコースです。

履修方法

科目 区分	授業科目	単位数		年次ごとの単位修得			修了要件 単位数	博士課程科 目の 履修
		必修	選択	1	2	3		
専門基盤 科目	研究方法論基礎(10 題目以上) (注1)	2		----->	2		2	可
	研究方法論応用(10 題目以上) (注1)	2		----->	2		2	可
研究指導 科目	課題研究 (所属する教育 研究分野)	4		----->	4		4	不可
	薬科学英語演習 (所属する 教育研究分野)	1		----->	1		1	該当なし
専門 科目	選択科目 (3 科目, 各 1 単 位)		3	----->	3		3	該当なし (注2)
	薬科学演習 (注3)	2	2	----->	4		4	選択では可
合 計		16					16	

(注1) 10 題目のうち博士課程薬学系及び医学系・歯学系の題目を、2 題目まで受講することができます。

(注2) 「選択科目」については、博士課程の薬学系教員も兼任教員として開講することとし、3 科目のうち1 科目は、これらの他専攻教員担当の「選択科目」を履修することができます。

(注3) 選択では、博士課程専門科目（講義・演習）も履修することができます。

(2) 分子イメージング教育コース

このコースは、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科と（独）理化学研究所分子イメージング科学研究センター(理研CMIS)が協力し、連携大学院を設置して分子イメージング技術を習得するコースです。

分子イメージングとは、生体内での分子の挙動をリアルタイムに可視化する手法で、その可視化は、非侵襲的に行えるのが特徴です。汎用される分子イメージング技術には、光イメージング（蛍光、発光）、磁気共鳴イメージング（MRI）及び核医学イメージング（PET、SPECTなど）があり、今日、わが国の科学技術政策においても推進される重要研究分野です。この技術は、薬学、医学、歯学はもとより、物理学（加速器科学、核物理学）、化学、工学などの境界・複合領域も含む基盤技術からなり、臨床応用や基礎医学研究に資する技術として、大きな期待が寄せられています。

このコースでは、岡山大学や理研CMISなどにおける分子イメージング科学研究の第一線の研究者により、基礎から臨床応用にわたる広範な講義並びに演習や、おかやまメディカルイノベーションセンター(OMIC 岡山大医療系キャンパスに平成22年度設置)や理研CMISでの実習等が予定されています。

単位の内訳は下表のとおりで、通常の修了要件に加え、分子イメージングプログラム関連の4科目10単位の修得を課します。ただし、「薬科学演習」の選択科目に代わり、同プログラム中の分子イメージング科学（講義・演習）を履修するものとし、合計24単位以上の修得と博士論文審査及び最終試験の合格を修了要件とするものです。

履修方法

科目区分	授業科目名	配当 年次	単位数		修了要件単 位数
			必修	選択	
専門基盤科目	研究方法論基礎（10 題目以上、注1）	1・2年， 通年	2		2
	研究方法論応用（10 題目以上、注1）	1・2年， 通年	2		2
研究指導科目	課題研究（所属する教育研究分野）	1－2年， 通年	4		4
	薬科学英語演習（所属する教育研究分野）	1－2年， 通年	1		1
分子イメージングプログラム	分子イメージング科学概論	1・2年， 通年	2		10
	PET 科学アカデミー	1・2年， 通年	2		
	分子イメージング科学 （講義・演習）	1・2年， 通年	2		
	分子イメージング科学 （演習・実習）	1・2年， 通年	4		
専門科目	選択科目（3科目，各1単位）（注2）	1・2年， 通年		3	3
	薬科学演習	1・2年， 通年	2		2
計			21	3	24

(注1) 10 題目のうち博士課程の題目を医学系・歯学系を含め、2題目まで受講することができます。

(注2) 「選択科目」については、博士課程の薬学系教員も兼任教員として開講することとし、3科目のうち1科目は、これらの他専攻教員担当の「選択科目」を履修できます。

VI 薬科学専攻(博士後期課程)案内

講座	教育研究分野		担当教員
	名称	内容	
創薬分子生命科学	有機医薬品開発学	有機合成化学,有機構造化学を手段に用いて, 予測性ある新規構造概念の創生を行ったり, 構造活性相関解析から薬物-受容体相互作用様式を解明し, 医薬創製や新規生物活性化合物創製へ応用するための教育・研究を行う。	宮地 弘幸 教授
	合成医薬品開発学	創薬を指向した分子設計と医薬品合成のためのプロセス化学及び精密合成化学反応の開発とその医薬分子創製への応用に関する教育・研究を行う。	竹内 靖雄 教授
	天然医薬品開発学	和漢薬などとして利用される生薬及び未利用植物資源からの新規生物活性物質の開拓及び生薬の有用性の科学的基礎付けを中心とした教育・研究を行う。	波多野 力 教授
	精密有機合成化学	汎用性のある多段階ワンポット反応の開発と, late stage functionalizationによる効率的合成法の確立, 及びそれらを基軸とした生物活性物質の全合成に向けた教育、研究を行う。また, 優れた発光性や色彩を持つ π 電子系分子を創出し, その物性解明研究を行う。	澤田 大介 教授
	医薬品機能分析学	分子イメージング技術を用いた新規放射性医薬品創薬研究や代謝生理学的研究, マイクロドーズ臨床試験などのトランスレーショナル研究を推進し, 併せて新規分子イメージング計測技術や新規計測技術の開発, 生体内金属の生理機能解明や輸送機構解明などの教育・研究を行う。	榎本 秀一 教授
	生体膜生化学	医学・薬学的に重要な神経伝達物質トランスポーターと脂溶性物質トランスポーターの構造・分子機構・生理的意義に関する教育・研究を行う。	森山 芳則 教授
	薬物動態制御学	医薬品の吸収, 分布, 代謝及び排泄の特性を解析し, その解析結果を基に, 医薬品の有効性・安全性を高める最適な製剤の開発を目的にした基礎的な研究教育, 及び実用化を目指した応用的な教育・研究を行う。	檜垣 和孝 教授
	微生物医薬品学	人類の健康にとって最大の敵である微生物感染症について, 新規治療薬, 新規予防薬の開発をテーマとして, 教育・研究を行う。	(黒田 照夫 准教授)
	生体応答制御学	細胞生物学的なアプローチを通じて, 免疫細胞による生体内の恒常性維持、あるいはその破綻のメカニズムに関する教育・研究を行う。	田中 智之 教授
	生体物理化学	光や電気などの物理的刺激を利用し, 分子から脳まで, 高速反応から分子進化までの幅広い時空間軸での解析と解析法の開拓を行い, 生命機能を物理化学の言葉で理解することで, 創薬を支えるための教育・研究を行う。	須藤 雄気 教授

平成28年4月
入学・進学者出願書類
APPLICATION DOCUMENTS FOR APRIL 2016 ENROLLMENT

以下のページは、平成28年4月に入学又は進学を志願する者に関する出願書類の指定様式です。入学者用の「学生募集要項」又は進学者用の「進学者選考要項」を熟読の上、必要書類を作成してください。

	入学者募集要項 で記載の書類	進学者選考要項 で記載の書類
入学・進学願書	○	○
受験票	○	○
履歴書	○	○
学位論文要旨	○	
研究経過報告書	○	○
研究計画書	○	○
出願資格(2)(3)で出願する者の履歴書及び研究従事内容証明書	○	
出願資格(6)で出願する者の博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認・報告書	○	
受験票送付用封筒	○	○
連絡受信先シール	○	○
入学検定料振込用紙	○	

出願資格(7)又は(8)で出願を希望する者の出願資格審査提出書類

出願資格認定申請・調書	○	
業績調書	○	
研究従事内容証明書	○	

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（博士後期課程）
GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE, DENTISTRY AND PHARMACEUTICAL SCIENCES
(DOCTOR COURSE), OKAYAMA UNIVERSITY